

人間の安全保障におけるデジタルの重要性

インターネットやデジタルサービス等へのアクセス改善、データやデジタル技術の利活用推進は、人間の安全保障が目指す価値（命、暮らし、尊厳）の実現に非常に有用な手段となります。デジタル時代の便益を人々が適切に授受するためには、アクセス改善によるデジタル包摂性を高め経済的、社会的な機会の格差を是正するだけでなく、サイバー空間におけるリスク軽減策としてのサイバーセキュリティ（安全なサイバースペースの実現）への取組、偽情報・誤情報拡散といったリスクへの対応・認識向上等も等しく重要となります。



人間の安全保障のアプローチの実践を通じたJICAの貢献

JICAは、デジタルの活用を通じて一人ひとりの安全な暮らしと多様な機会・幸せを実現できる社会を目指します。また、人間の安全保障における「保護」と「エンパワメント」を組み合わせた取り組みを通じ、途上国のデジタル化の基盤整備や、あらゆる分野でのデジタル技術の活用促進を支援します。

- ・ 包摂性の高い通信インフラ整備の促進や人々の生活や尊厳を守るサイバーセキュリティ対応能力強化事業を進めています。
- ・ 事業DXの主流化を通じ、農家の収入向上、保健サービス質向上等、各課題における協力の質向上に加え、それを支えるデジタル人材育成等を進め、人々の選択肢の拡大、課題対処能力の向上に貢献しています。

SDGsへの貢献



「デジタル化の促進」は横断的な取り組みとして全てのSDGsゴールへの貢献を目指します。

2024年国連未来サミットで採択された「グローバル・デジタル・コンパクト」にも沿って協力を進めていきます。

CASE

ヘルスデータ活用で全ての人の健康を推進

ブータンで進むデジタルヘルス推進事業

ブータンでは、国民の保健医療データが蓄積されたデジタルヘルスプラットフォーム（DHP）を通じて、個人が自身の健康管理や治療に必要な情報へアクセスできる仕組みづくりが進められています。糖尿病や心疾患の増加などの社会課題に対し、医療・健康分野デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進。医療・健康データを活用したイノベティブなデジタルサービス開発や人々の医療サービスの合理化・疾患予防等健康増進を通じた、国民総幸福量（GNH）の向上にも貢献することが期待されます。



首都ティンブー市内の青果市場で血圧測定が行われている様子。ブータンのデジタルヘルス実証事業の一環として、身近な場所で健康状態を確認する機会を提供し、日常生活における健康意識の向上を目指しています。